

大熊写真クラブとは

大熊写真クラブは2023年12月に産声を上げました。

代表である私、上田寿明が東日本大震災、並びに原子力災害に見舞われた大熊町を訪れているうちに、変わりゆく町の姿を写真で捉えていきたい、と思ったことがスタートです。

なおかつ、単に写真を撮るだけでなく、震災前からこの街に住んでいた町民（以下、帰還町民といいます）のみなさんの話を聞いて、その上で写真に納めることが大事なのではないか？とこの活動を始めました。

震災から十余年の月日を経て、ようやく復活の兆しを見せ始めているのと同時に、廃炉のめどのたたない原子力発電所や、除染土を保管する中間貯蔵施設、そして町の中でも除染の進まないエリアを抱える世界にも例のない稀有な町です。

帰還町民の方の話を聞いて、あるがままの大熊の姿、そして変わりゆく大熊の姿を記録に留めていく、それが大熊写真クラブです。

2023年12月から8回の撮影会を開催、延べ100人の方に参加いただいています。

代表 上田 寿明

1961年生まれ 東京都在住

趣味で始めた写真撮影

1993年にフランス、ル・マン24時間レースを撮影した写真で日本写真家協会年度展入選

2012年～2025年 ル・マン24時間レース公式フォトグラファー

フランス人以外唯一の公式フォトグラファーとして、ル・マン24時間レースの撮影を続ける。

2023年より、福島県大熊町で写真ワークショップを開始。

2026年、任意団体大熊写真クラブを設立。

2026年、このプロジェクトが大熊町関係・交流人口拡大事業補助対象となった。